

お盆

金子暢子

今晚は 元気な声々 盆に聞く

十人の ひ孫揃えて 香を上げ

養育の 足しになればと お盆玉

盆揃え 孫との絆 お盆玉

リハビリは 孫に甘える 老の顔々

髪も背も 清らかにして ゆうあい苑

老いて今 苦難超えたる 笑顔あり

要介護 昔の事のみ 思い出す

草の出の 早さや青き 更地畑

蚊取り香 下げていどまん 雑草に

話してる 相手の名前 知らぬまゝ

台風が 耳鳴りつれて来 つれ去った

嫁自慢 長い人生 超えて来た

傷あれど 笑顔明るい 友が居る

子なれば 介護一筋 飯運び

ゆうあい苑 たまには赤き 服を着て

親は子に 子は親に心して 誠尽くすが天地の道

母の教え 子に伝えたし 辛き世に

時の流れ 挨拶するなど 子に教え

昔の教え 今の世に 通ぜず

鍵^レて 犬も番して 門を閉じ

介護者に やさしい ゆうあい苑

八月や 極楽浄土の 門があき 仏それぞれ シヤバへ 舎場へと

急がれる

初盆 迎え火は 青竹の 高き所に ちようちん火

十三日 迎え火 唐天竺まで せがきに行くという

十四日 早朝墓参

十五日 夜遅くに送る

